

おいしい時間 欧風料理・ケーキ ボンボニエール

丁寧に作った季節感溢れる欧風料理とケーキ

季節感あふれるオリジナル欧風料理と自家製ケーキが楽しめるレストラン。

オーナーシェフの宮脇利郎さんが腕をふるう

平成17年の開店時から人気のスペアリブをはじめ季節の魚介類や野菜の持ち味を生かした約30種のフレンチベースの料理は、下ごしらえから時間をかけて調理し、ピザの生地なども手作りしている。

昼はサラダやホットドリンクな



宮脇利郎さん(右)、弘美さん



① オーナーシェフの宮脇利郎さんが腕をふるう
② 手が付く黒毛和牛ステーキ、オムライス、季節のリゾット、本日のパスタなどのランチが好評。夜はピザ、パスタ、スペアリブ、地鶏のコンフィ、黒毛和牛の赤ワイン煮などの一品料理をはじめ、ディナーパーティーコース(5人以上)もある。

妻の弘美さんが作る約10種のケーキはテイクアウトで求め

☎3480-1122 西野川1-16-5ウエストスクエア狛江1F 営業=ランチ午前11時30分~午後2時(LO)、ディナー午後5時30分~8時(LO) ケーキは午後2時~5時30分も販売 月曜日休み、不定休あり

MENU (税別)
①スペアリブの黒コショウ焼き ¥2,300
②海老と岩のりのクリームパスタランチ ¥1,700、カルボナーラ ¥1,400
③ピザ=しらす ¥1,700、マルゲリータ ¥1,500、生ハムのサラダ ¥850、黒毛和牛の赤ワイン煮 ¥2,800
④ケーキ=TOKYO狛江がりんせす ¥390、ブルーベリータルト ¥580、いちじくのタルト ¥600ほか

る人も多い。狛江市主催のランチ、こま丼、ヌードルの各逸品コンテストで優秀な成績を収めており、25年のスイーツ逸品コンテストで最優秀作品賞に選ばれた「TOKYO狛江がりんせす」は人気の定番商品だ。

テーブル、カウンター合わせて18席の店内は静かで落ち着いた雰囲気。宮脇さん夫妻は「料理とケーキを通して季節感を味わえるように心がけています」と話している。



子之権現三嶋神社 松原 交番



昭和の若者の暮らし伝える 沖縄資料館で南灯寮の写真展

南灯寮の写真展と高山さん(左)

50数年前の岩戸北4丁目にある沖縄県の男子学生寮を撮影した企画展「平敷兼七 南灯寮の写真展」が10日(土)まで「狛江の小さな沖縄資料館」(岩戸北4-10-72F)で開かれ、昭和の若者の暮らしがよくわかると好評だ。

撮影したのは、沖縄県今帰仁村出身で沖縄の庶民生活を題材にした作品などで知られる写真家平敷さん(故人)。展示してある六切の白黒写真約50点は、平敷さんが東京総合写真専門学校などで学んでいた昭和44年~46年に撮影したもので、当時の寮の外観、中庭、トイレ、風呂、食堂、遊戯室などをはじめ、カードゲームや酒盛りなど当時の学生の暮らしぶりをしのばせるもののほか、ヤギの解体、南京虫の駆除など珍しい光景や街の風景を写した作品もある。このほかに南灯寮から借りたものなどを含め約500枚の写真を見ることができる。

平敷さん自身は寮に住んでいなかったが、寮で故郷をしのぶことができたためか、「そううつ、ノイローゼに陥らなかったのは南灯寮のおかげです」と語っていたという。

南灯寮は22年に同県出身の学生を支援するため戦争中の軍需工場の寮を買収して開設され、公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団が運営している。現在の施設は62年に、木造2階建てから鉄筋コンクリート3階建てに建て

替えられた。

資料館は、俳優の高山正樹さん(68)が令和4年夏に開館、沖縄に関する書籍や写真、資料などを展示するほか、沖縄に関する写真展やトークショーなどを催してきた。写真展は高山さんが沖縄にある平敷さんのギャラリーを訪れ、遺族の協力で実現した。

問い合わせは☎3489-2246同資料館。

狛江産ビール醸造目指し 麦の収穫と脱穀に汗流す

クラフトビールの原料にする麦の収穫作業が5月30日(土)・31日(日)と6月13日(土)・14日(日)に駒井町にある畑約2,000㎡で行われ、家族連れなどのべ100人余りが参加し麦刈りや脱穀を体験した。平成29年からビール醸造を行っている籠屋秋元商店の秋元慈一社長が、オール狛江産の材料でビールを作りたいと、近所の畑を借りて初めて麦の栽培に取り組んだ。ビールの醸造や農業に関心をもち市民に呼びかけて昨年11月に種をまき、麦踏みを行うなど大切に育ててきた。

5月30・31日は麦の穂先の摘み取りを行った。参加者は麦の穂をひとつずつ手で摘み取る根気のいる作業に取り組んだ。その後、収穫した麦を畑のビニールハウスで乾燥させた。

6月13・14日は麦の穂を手でしごいて脱穀(13日のみ)を行った後、市内の農家から借りた木製の農機具の唐箕を使って実だけを選び分ける精選作業を行った。

参加した男性は「実家で子どもの頃、唐箕を使ったことがあるので懐かしかった。おいしいビール



唐箕を使い麦の実を選別

ができるよう期待しています」と話していた。

収穫した麦は年末頃にビールの醸造に使う予定だという。

弁財天池のトークショー 11日に泉の森会館で

狛江駅前の泉の森会館で11日(土)午後1時30分から泉龍寺前住職の菅原昭英さんのトークショー「あなたの知らない狛江の話」を開催する。



木造弁財天像

同館自主企画として泉の森友の会との共催でシリーズとして実施する。初回は泉龍寺にある弁財天池をテーマに、ラジオパーソナリティー梶本滋さんの司会で泉の森会館の飯田太郎館長が数十年前の池の写真などを紹介しながら菅原さんから周辺の遺跡や地名の「和泉」の由来、池の歴史的背景、同寺の起源や伝承、寺が所蔵する木造弁財天像、雨乞いなどについて聞く。入場は1,000円で定員60人。問い合わせは☎5497-5444泉の森会館。

絵手紙アシスタント活躍

ひろがれ 絵手紙の輪

絵手紙アシスタントは「絵手紙発祥の地-狛江」の事業を支えるボランティアとして令和5年度に創設された。現在10人が登録。「絵手紙発祥の地-狛江」実行委員会の委員のサポート役として市民対象の絵手紙ひろばや市立小中学校での絵手紙教室で準備や撤収、絵手紙街角ギャラリーの交換作業を行っている。



絵手紙アシスタント講習会

5月から6月にかけて初の講習会を開催。11人の参加者は絵手紙に関する基礎知識やかき方、指導の仕方などを3回にわたって受講、希望者はアシスタントに登録し活動する。

(一財) 狛江市文化振興事業団では随時登録を受け付けている。申し込み・問い合わせは☎3430-4106狛江市文化振興事業団(午前9時~午後7時、火曜日休館)

市民協働提案事業を31日まで募集

狛江市は自然・環境、都市基盤、子育て・福祉・健康づくり、教育・文化など、様々な分野にわたる公共的な課題解決のため、市民活動団体と行政の持つ力を活用し、協力して事業を実施することで効果的に解決に取り組める協働事業の提案を募集している。

募集するのは市民提案型市民協働事業と行政提案型市民協働事業の2種。

市民提案型市民協働事業は市民活動団体自身が自由にテーマを設定し、行政と協働で取り組み、効果的・効率的な課題解決につなげる。

行政提案型市民協働事業は行政課題について市がテーマを提示し、市民活動団体と協働で取り組み、効果的・効率的な課題解決につなげる。

応募は31日(土)までに狛江市市民活動支援センターまたは地域文化スポーツ部協働コミュニティ課市民協働推進係へ。※提案には事前相談が必要。

行政提案型市民協働事業のテーマや制度の内容、書類などの詳細は市ホームページを参照。

問い合わせ☎5761-5556狛江市市民活動支援センターまたは☎3430-1111協働コミュニティ課市民協働推進係。